

●風薫る季節に 【小澤】

風薫る5月、琵琶湖では朝日レガッタも無事終わり、また島根県・さくらおろち湖では全日本マスターズ…、各地のレガッタも順次開催され、クルーのみなさんも元気に漕いでおられることでしょう。桑野造船も、新工場への移転から1年を無事過ごし、引き続きより良い艇づくりにまい進しております。先日のこと、その新工場の完成品検査室にツバメが2羽入ってきて天井の梁にとまっていました。近くによっても逃げようとしません。どうやら、巣作りの場所を探し、住人の素性を見定めている様でもありました。昔から、「ツバメが巣をかける家は栄える」とも言われるので、「ぜひどうぞ…」とも思いましたが、セキュリティシステムや品質管理上、そういうわけにもいきません。脅かさないようにそっと外に出てもらいました。せめて外壁のどこかにぜひ…。ボートと生き物、直接関係なさそうですが、自然の中で共に水の恵みを享受しながらの活動です。自然環境に対して謙虚に、感受性を高めてボートを漕いでいきたいですね。

●Kuwano S シューズ 新発売

Kuwano シューズに新モデル“S”が登場です！全体的にメッシュ素材でできており通気性がアップ。さらに、ソール部分を中心にしっかりとした作りになっています。アルミプレートに留めるネジの寸法はシューズA/Bと同じなので、シューズを買い換える際と同じプレートの使用が可能です。Nike シューズを付けたいけど、ちょっと高いな…という方のために、ランクアップしたシューズをお手頃価格にてご用意しました。今週末行われる軽量級の会場にもお持ちしていますので、是非 Kuwano テントにて新しいシューズをご覧ください。



●実艇を使った水槽実験！（BioRow のニュースレターより） 【小澤】

BIOROW (<http://www.biorow.com/>) のニュースレターに、興味深い実験レポートがありました（2015年4月号）。ロシアのサンクトペテルブルグにある研究所の実験水槽（長さ600m）で、シングルスカルの抵抗などを実測したものです。エンパツハ、フィリッピ、ウィンテックなど4艇を「実漕」と「曳航」で計測（「実漕」は実際に漕手が漕ぐもので、「曳航」は定速で機械的に牽引するもの。計測データは、ウェブサイトで閲覧できます）。

「実漕」「曳航」の両方の結果において、抵抗が最も小さかったのはウィンテック艇でした。抵抗の差（平均値）は、ウィンテックを基準としてエンパツハは0.78%、フィリッピは2.95%大きく、計算上の2000mでのタイム差は、約1~3秒台といったところのようです。

もっとも、実験艇の年代、船型、設定体重はそれぞれなので、この結果をもって単純にメーカーの性能差と考えるべきではないでしょう。抵抗が最重要要素の一つであることは確かですが、他にも様々な性能・品質要素もあります。しかしこのような実測を積み重ねることが、より良い艇づくりにつながります。桑野でも今後、研究機関とも連携し、このような客観的な計測も実施していき、より高性能な艇造りを展開していきたいと考えています。

写真左：実漕試験 写真右：曳航試験 (http://www.biorow.com/RBN_en_2015_files/2015RowBiomNews04.pdf より)

